

アイリックコーポレーション

AS platformリリースから半年
5000ID、代理店156社が登録

アイリックコーポレーションは2月2日、同社が運営する保険募集人のための情報プラットフォーム「AS platform（エーエスプラットフォーム）」の登録ID数が、1月に5000IDを突破した（登録代理店156社）と発表した。2025年7月の本格リリースから半年での達成となった。

保険販売の現場では、複数の保険会社から日々届く膨大な商品・規定情報の整理が募集人の大きな業務負担となっていた。顧客への誠実な対応

に欠かせない知識習得が、情報の断片化によって非効率となっていた。実は、「情報の分散」によって募集人本来のパフォーマンスを阻害してお

情報の一元化で募集人の商品理解を支援

考えている。

この状況を打破するため、同社は大型代理店としての実務ノウハウと開発部門の技術力を融合し、募集人が本来のコンサルティング業務に集中できるよう、あらゆる情報が一元管理された「募

集人専用の情報のハブ」として同サービスを構築するに至った。

2024年5月のサービスの構想着手から1年半、正式利用登録開始から約半年における急成長の背景には、次の二つの大きな要因があると同社は分析している。

①主力システムユーザーの声を反映したサービスの開発・同社の主力システムである「ASBOX」や「AS SYSTEM」を利用している代理店・募集人の声を真摯（しんし）に取り入れ、現場で本当に必要とされている機能を厳選して開発に注力した。具体的には、各保険会社の商品名や特約名から保障内容を検索できる機能や、保険募集にまつわる記事・コラム、各社提供のコンテンツを二元的に閲覧できる機能を実装。個別に行っていた煩雑な情報収集を一つのインターフェースに集約することで、利便性が劇的に向上した。

②募集人への無償提供。AS platformは、登録した代理店に所属する募集人に無償で提供している。高い実用性を持つツールをコスト負担なく導入できる点が、多くの募集人に支持され、短期間でユーザー数拡大につながった。

これらにより、募集人が本来の業務である「顧客への最適な提案」に注力できる環境を構築している。

強い関心を寄せられている。今後、情報の伝達効率がさらに高まることで、募集人の商品理解が深まり、より質の高いサービス提供につながる基盤となるものとして期待されている。

今後、AS platformは同社が保険代理店に提供するすべてのサービスの「ハブ」となることで、募集人が保険提案に必要な情報を一元管理できるインフラへと進化するとしている。各サービス間の連携については、ID統合によるSSO（シングルサインオン）を進める。

同社の建部賢二郎取締役副社長は、「日頃よりお取引のある保険代理店、保険会社には、AS platformのコンセプトに強い関心と期待を寄せていただいている。登録受付開始からわずか半年で5000IDに到達したことは、現場のニーズに即したサービスを提供できている証だと確信している。保険業界では保険会社によるAI活用やDXが加速しているが、代理店におけるテクノロジー活用による業務改善の余地はまだ多く残されている。引き続き、サービス拡充と各サービスとの連携を強化し、顧客、代理店、保険会社の三者利益の実現に貢献する」とコメントしている。